

# 冬季限定！スノーギフト2023

そらぶちキッズキャンプ（北海道）につもった

## 森の中のゆきを さわってみよう！

体験レポート

そらぶちキッズキャンプは、病院や自宅で闘病中の子どもたちや家族を、北海道滝川市丸加高原にある医療ケア付きキャンプ場に無料で招待し、大自然の中で乗馬や森たんけん、雪あそびなど、子どもたちや家族が、病気や障がいのことを気にせず「真剣に楽しむ（シリアスファン）」非日常の時間を提供しています。また、闘病中の子どもたちが過ごす、全国各地の病院や施設等にも「楽しみ（ギフト）」を贈っています。スノーギフトは、今年で3回目。1月下旬から2月下旬にかけて、北海道の雪を全国の病院・施設へ贈り、雪あそびを体験してもらいました。

### 降りたての雪を詰めます

サラサラでキレイな雪を  
想い込めて箱に詰めました。



北海道から全国各地へ



2023年の  
スノーギフト  **79箱** 全国へ

雪あそびの様子は次ページへ  
**GO! GO!**



-18℃の冷凍空輸等で病院へ

### 北翔大学・杉岡ゼミの学生さんにご協力いただきました

これまで、そらぶちの活動に協力してくれていた北翔大学・杉岡ゼミの学生さんに、今年から早朝の雪詰め（一部）に参加いただきました。



今年も小野薬品さんに、一部のゆき運びをお手伝いいただき、昨年よりも多くの病院の子どもたちに届けることができました。

全国がら届いた  
雪あそびの様子を  
紹介します！



雪詰め雪運び  
動画



子どもが「え!?この病院雪が届くの!?北海道から?どゆこと?」と驚いていました。(スタッフ)

プレイルームはすてきな雪の作品たち、みんなの笑顔でいっぱいになりました。(スタッフ)

子どもから「雪を届けてくれた人達に、楽しかったよ!ありがとう!って伝えてほしい」という伝言を預りました。(スタッフ)



北海道の雪景色を眺めて「すごい」と思わず笑顔がこぼれていました!(スタッフ)

ふかふかのゆきをとどけてくれてありがとう。(子ども)

サラサラした雪で楽しくて、おもしろかったです。(子ども)

雪が柔らかく、冷たかった。いろんなかき氷が作れて楽しかった。(子ども)

とても素敵な活動です。是非続けてほしいです。(保護者)

とても集中して遊び切っていました。(スタッフ)

パウダースノーに子どもも大人もみんな感動しながらたくさん遊ばせていただきました。(スタッフ)



スノーギフトを通して雪の感触や冷たさ等を楽しむことができ、スタッフも子どもたちのいろいろな表情をみることで嬉しくなりました。(スタッフ)

サラサラの雪を届けてくれて、とても楽しそうにしている姿を見ることができて、感謝の気持ちで一杯です。子どもが喜ぶ顔も見ることができて、本当によかったです。(保護者)

## そらぶちキッズキャンプ2023



# Web配信(相互交流)イベント 森の中の「ゆき」を感じてみよう!

難病の子どもの医療ケア付キャンプ場「そらぶちキッズキャンプ」は、キャンプ招待以外に、闘病中の子どもたちが過ごす、全国各地の病院や施設等に「楽しみ(ギフト)」を贈る活動も行っています。今回のWeb配信(相互交流)イベントも、その1つ。北海道の自然を感じてもらおうと、普段からご支援を頂いているフジテレビ CSR チームに協力してもらい、1月26,27日の2日間に渡り、初チャレンジのイベントを開催しました。

雪が降り積もる「そらぶちの森」にフジテレビ今湊敬樹アナウンサーがやってきて、コロナ禍で外出が厳しくなっている全国の11の病院・施設の子どもたちに向けて、オンライン中継で、「ゆき」をテーマに交流しました。



冬の森からの生配信

初回のイベント参加は11病院・施設、78名でした。  
(茨城、栃木、千葉、東京、神奈川、奈良、大阪)



## 今湊敬樹アナウンサーからのメッセージ

極寒、豪雪地帯の北海道滝川市にお邪魔して参りました! 青空の下、広がる真っ白な雪景色! 日中でも氷点下10度前後、その雪を触るとふわふわ... 手で握ってもすぐには固まらず! これが北国の雪かと感動です。翌朝には動物の足跡も発見! キタキツネが雪の大地をまっすぐ力強く歩いていく様、そしてその足跡を追っていくとホヤホヤのフンとも遭遇! あとちょっと早ければ生で会えていたかもと興奮しきりでした。こうした状況を説明していくうちに、画面の向こうの子どもたちから「きもちー!」「行ってみたい!」という言葉が! 離れていても少しずつ心の距離が近づいているのを感じ嬉しく思いました。



フジテレビさんのそらぶちキッズキャンプ  
活動支援リポート・ホームページはこちら。